

# 安全に抗がん剤治療を行うために

抗がん剤を投与(服用)した後の排泄物(尿・便・吐物等)には、  
抗がん剤の成分が含まれている可能性が高いです。  
周りの方への影響を防ぐために取り扱いには注意が必要です。

## トイレの時

- 男女ともに、できる限り洋式トイレを使用し、飛び散りを防ぐために座って行いましょう。(※男性の排尿時も同様に座って行いましょう)
- ふた付きトイレはふたを閉めてしっかり流しましょう。(トイレの流れが弱い時は2回流してください)

## 汚物を処理する時

- 排泄物の付いたもの、汚れたゴミを取り扱う時は**手袋**を着用しましょう。
- ゴミ袋の口を固くむすび、次のゴミ収集日に捨てましょう。



## 洗濯する時

- 排泄物で衣類・シーツ等が明らかに汚れた場合は、**手袋**を着用して付着部を流水で洗い、その後、他の洗濯物と区別して通常の方法で洗濯してください。

## ストーマ(人工肛門・膀胱)を使用する方へ

- ストーマ装具の交換時は**手袋**を着用し、抗がん剤を投与する前に行いましょう。
- 次回の交換は抗がん剤を投与した2日後に交換するようにしましょう。
- 毎日交換している場合は、今までどおり毎日交換してください。

## 抗がん剤の服用時

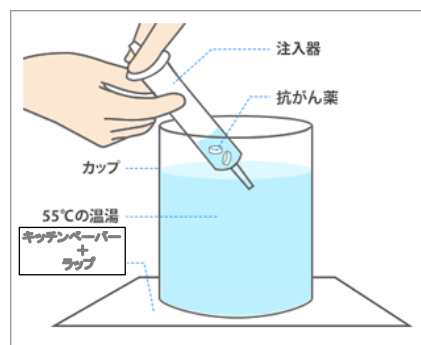
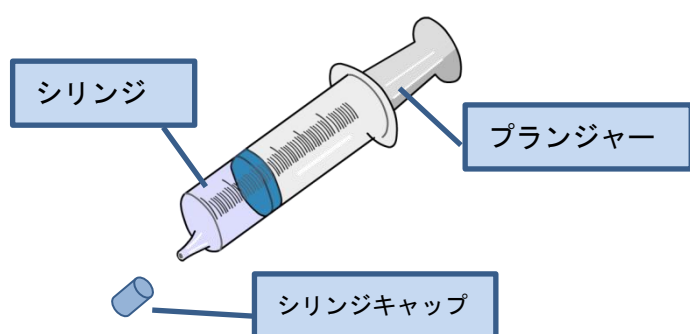
- 薬を飲む前後は手洗いし、できる限り直接、手に触れないようにしましょう。(コップなどを使うことをおすすめします。)
- 介助する場合は手に触れないよう**手袋**の着用を心がけましょう。
- 自己判断でカプセルをはずしたり、錠剤を割ったり、かみ砕かないよう服用しましょう。

## 経管投与を行う場合

錠剤やカプセルを飲むことが難しい場合は「簡易懸濁法（かんいけんたくほう）」を行ってください。

※医療スタッフの指示に基づいて行ってください。

- ①手を洗い、手袋(マスク、使い捨てエプロンもあれば望ましい)を着ける。
- ②お盆の上にラップを敷き、その上にキッチンペーパーをのせ、その上で作業を行う。
- ③注射器のプランジャーを抜いてはずし、シリンジの中に薬を入れる。  
その後、プランジャーを元どおりにしっかり押し込む。
- ④約 55℃の温湯を 20mL 程度吸い上げる(図 1)。  
(ポットのお湯:水道水=2:1 でだいたい 55℃の温湯になります。)
- ⑤シリンジキャップを付けた状態で、静かに混ぜ、薬が溶ける間まで約 10 分間置いておく。
- ⑥服用直前に再度混ぜ、溶けていることを確認してから服用する。



- ★汚れたゴミなどの廃棄物は「汚物処理」と同様の方法で廃棄しましょう。
- ★お薬の中には簡易懸濁に向かない薬もあるため、医師または薬剤師に相談してください。

全ての作業の前後は、必ずしっかり手洗いをしましょう。

投与後 48 時間は排泄物(尿・便・吐物等)に抗がん剤が多く含まれている可能性が高いです。少なくともこの期間は上記のことに注意してください。